

磐城時報

日刊 廿七
編輯 磐城時報編輯部
印刷 磐城時報印刷部
發行 磐城時報發行部
電話 磐城時報電話部
廣告 磐城時報廣告部
訂費 磐城時報訂費部
地址 磐城時報地址部

平町會津人會で 秩父宮御成婚奉祝

平町會津人會では廿八日秩父宮十月末より收穫する事であるが殿下と松平勢津子姫の御婚儀が近年にない作柄で豫想外に驚く行はせらるゝので正午から松ヶ岡公園で奉祝會を開く由である

園藝共進會 追加豫算認可

郡南入道野、上道野、田八の山石城郡農會では十一月二十三日村部の特産蒔蒔は六、七月の病より二十六日まで四日間御大典虫害の繁殖する頃一般農作物奉祝をかね縣農事試験場石城分なら晴天高温を必要とするが蒔蒔の創立五週年記念園藝品共進蒔蒔だけは正反對に降雨の濕會を一層盛大ならしむるため更潤な天候だけ生育極めてよく先にまた追加豫算四百圓を計上す頃眞夏をしのぐ殘暑が續いたがことになり縣に對し之が認可さして影響なくこの二三日又ま申請中二十六日加勢知事から認めた雨があるのでもま繁茂し可あつた。

結局覺束なきさうな

石城の築港改修

冷淡な縣當局と漁業家 一縷の望は知事の口吻

石城郡内に於ける明年新規事態度に危懼の念を抱き各方面と業として期待されてゐるのは小も之が對策を講究してゐるが、名濱築港を始め豊間、四倉兩漁加勢知事が濱通り初巡視の際漁港自動車道路の改修、河川改良港の實現に努力すると明言した等山積してゐるが、最も重要な事實もあるのその結果は注目事業として縣當局並に主務省にされてゐる。

生徒文庫設置

石城 千二百町歩、永戸村の四千九百歩植田町多野屋旅館において町歩、川前村の四千四百町歩な當夜はあたまも八月十五日に益の委譲が豫定の如く實現される事となつた。

議したが、前年度の繰越金を流用して一面學校内部においては學用品購買部を設け利益金を生徒の運動用具その他に使用する事になつた。

倉田氏と會見

平町に於て 日本勞農黨々首麻生久、同議院部長高梨二夫兩氏は二十四日平町に於て

國有林收益の移讓

各町村で運動準備

濱三郡中の國有林所在町村ではる事になれば同林野の所在町村今回農林省がこれ等所在町村にはこれによつて幾多の財源が得對し明年度豫算において交付金制度を實施せんとしてゐるので各町村から非常な注意を拂はれ右國有林の一部をして地方町村で

植田菊多會

觀月を兼ねて例會 平營林署管内の國有林野立木面積を調査するに要する地三萬五千四百二十七町歩不要地二千八百二十八町歩合計三萬八千二百五十五町歩に達してゐる、而して内最も多きは石城郡上小川の五せ會の結果廿八日午後四時半より千二百町歩、永戸村の四千九百歩植田町多野屋旅館において町歩、川前村の四千四百町歩な當夜はあたまも八月十五日に益の委譲が豫定の如く實現される事となつた。

山の手林道開鑿 工費三萬圓、十二月完成

平營林署では管内で最も林産物を財團法人組織に變更する計劃の多い山の手方面に於ける交通が極めて不便のため支障多きを考慮し石住村、貝泊村間延長五哩の林道開鑿の計劃中であつたが、愈々具体案成り二十五日在校生四百名で文部大臣の認可東京營林署より五島島外一名來校である。

不敬事件 公判續行

昨報一平町西丁目の天理研究所瀧川幸一郎(二七)同内縁の妻坂本ふく(三九)兩名の不敬事件公判は事實の審問で閉廷し十月三日公判を續行する事になつた。

押賣

東京市神田區美土代町二ノ一國際タイムズ社外交員田中七五郎(三四)外二名は昨日前平町に入り込み御大典書帳を稱し各所に賣りつけてゐたが二十五日

嚴正なる各位の御觀察に訴ふ

又民友紙上によれば、組合員の退會者無数であると言ふが、場長より受け取りたる書類、通信等を調査するに何等退會に關するものは發見されな右は總務部を以て目下密かに其計劃中であるか否かは知らねども未だ表面具休化せざる事、却つて最近各方面の會員及び代表者は私の聲明書に共鳴し試練場の御正に猛進せよとの頻々たる壁障の通信を寄せられつゝある熱心振りを

味噌汁鍋で 大火傷

内郷村大字宮城炭礦長屋居住まつ長男小倉徳雄(三三)は二十日午後五時頃隣の草野、ハタチの味噌汁の鍋を持って家に入り込み御大典書帳を稱し各所に賣りつけてゐたが二十五日

平陽女學校 組織變更

平町平陽女學校は今回個人組織に入り込み御大典書帳を稱し各所に賣りつけてゐたが二十五日

此儘涼しくはならぬ 急激なる気温低下に就て

小名濱測候所の観測

今年もそろそろ時雨月になるので露の辛の葉、風の穂すき、世は一雨毎に秋の俳天地に入るに不思議はないが、今までの残暑が可なり甚だしかった反映として二十五日夜の雨から急に気温が低下した場合は單衣では凌ぎ兼ねるまで頓に秋意を感ずるものがあるが今年もこの度の雨を轉機としてこれなり冷涼の秋になつてしまふかどうかに就て小名濱測候所の観測をきくと

山田氏の病状経過

福島民報平支局山田盤廣氏は左足を病み過般來静養中であるが午前中は治療その他のため一切面會を謝絶してゐる。尙ほ都合により入院の手術をうけるかも知れぬと。

酌婦槍玉に上る

田警では最近不景氣が益々深刻化するに伴ひ各町村共に春を賣る者が増し著しく風紀を紊してゐるのでいよいよ取締を嚴重に徹底的に處断すべく先づ第一番に勿來町窪田白山料理店一方方酌婦小林みち(二五)が槍玉に揚られた。

逃歸つた小僧

石城郡飯野村大字北白土吉松義一妹伊藤かね(三三)は去る七月廿七日夕刻家人の虐待をうらみ自宅に放火した事件の第一回公判は廿六日午前十一時から平支部に開廷立會武田檢察官から懲役五年の求刑あり言渡しは廿九日

子宮出血と其注意 (二)

醫學士 五十嵐雄二 述

しかし假令一ヶ月にせよ妊娠とすれば子宮内膜はすつかり妊娠性變化をするのであるから、あまり軽く放棄して、おいてはよろしくない、今迄順調に定期的に反復してゐた月經が一二期閉止して不時に出血が多量にあつた様な時は、鬼に角、度は専門醫を訪ふことが安全である。三四ヶ月以上の流産であると、残骸物が存在してゐると後

郡田村旅人田人炭礦一ノ倉坑坑夫鈴木初太郎長男藤吾(一五)は四月初め埼玉縣川口驛前歸物業秋本島太郎方へ小僧に雇はれ五十圓を借りて住込んだが二月始めに無断逃走歸郷したので再三父の初太郎に交渉したが要領を得ないから金を返すか藤吾を戻すか説諭して貰ひたいと村田署に願ひ出た。

鳥御料理 蒲魚焼

平町南町平館隣り 電話四二四番

放火女の判決

石城郡飯野村大字北白土吉松義一妹伊藤かね(三三)は去る七月廿七日夕刻家人の虐待をうらみ自宅に放火した事件の第一回公判は廿六日午前十一時から平支部に開廷立會武田檢察官から懲役五年の求刑あり言渡しは廿九日

の肥立ちも悪く、又後年恐ろしい悪性脈絡膜上皮腫といふ病氣を發生する恐れがあるから、一應は受診するのが安全であらう。

▲早産 分娩の豫定日には未だ大分間があるに陣痛様の腹痛を起し多少の出血又は血液を混じた帯下を見た時には早産であることが多い、かういふ際には先づ安静に臥床し産婆なり産婦人科醫なりを迎へて一應診療を乞ふべきである。早産児も手當さへ行届けば時に立派に生存し得るものであるから、飽迄狼狽せず又容赦過ぎずに臨機應變に處置する事が大切である。



COSSACK

御大典記念品附特賣

入名念記筆年萬ケツサコ

壹式參	號號號	特特特	價價價	金金金	圓圓圓	四四四	拾拾拾	圓圓圓	圓圓圓	圓圓圓	圓圓圓
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

種各他其也也也

堂地天倉高

二十八日替り
マキノプロ御室特作品
根岸東一郎入社第一回映畫
彌次喜多
廣告篇 雷 電 全六
マキノ正博、三保松子共演
◎希キネ悲劇十種の内特作
新八山形映兒、八島京子主演
現代 夢の浮橋 全六
◎大帝キネ特作
妖盜 因果小僧 全八
如何に彼が宿命的に奔弄され
るか?
◎マキノ超一超光明篇特作
南光明入社第一回努力主演
原作脚色山上伊太郎
監督マキノ正博
劇時代 蹴合 鶏 卷十
◎當館は毎週六時開館にて十一
時閉館致しますから早
土日曜 學生デ！有聲座
近日公開 文藝映畫の巨
家 なき 兒
驚いた!!!
こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物

三景	百品	本一	組一
壹等	十八金厚側瑞西製拾石入	四等	本特賣抽籤ニハ全部空籤ナシ
貳等	アンクル側拾形瑞西製	三等	
參等	最新式置時計	二等	
四等	船來ニツ折シース	一等	
五等	弊店名入手拭	殘全部	

第一の井洋食謝恩デー

第二回當選發表

十月卅日日本紙上へ

1105	809	等一
1271	871	1855
1283	1026	1902
1292	1812	等二
1344	1821	等三
1372	1927	等四
1645	2039	1415
1688	2140	1962
1702	2087	等五
1780	1817	等六
1835	196	145
1847	498	616
1894	618	657
1911	621	1238
1967	645	2052
1979	683	等四
2086	896	等五
2115	997	509
2125	1034	509
	1048	617

蒲鉾賣出し廣告

夏期氷水販賣中は御引立に預り豫期以上の盛況を見て終了するに至つた事を厚く御禮申上げます。今回氷水販賣終了と同時に例年の如く蒲鉾製造を開始致します。から倍舊の御用命の程懇願致します。

蒲鉾 (材料精選、風味絶佳)
さつたまあけ (お土産品として籠入一個六十錢)
外敷種何れも体裁優美

御大典記念全國商工博覽會於銀盃受領
平町二丁目
電話三〇五番
藤市蒲鉾店

古流 折盛生花教授

松原齊 吉田理秀
平町大町若松病院向いづみや方

筑前琵琶教授

有山旭千師直門 吉田旭良
平町大町若松病院向いづみや方

藤市蒲鉾店

平町二丁目
電話三〇五番